

# 1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成27年2月7日

## 【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4691200366
法人名	医療法人 生成会
事業所名	グループホーム とうりんじハウス(2F)
所在地	鹿児島県霧島市隼人町東郷102番地 (電話) 0995-73-6311
自己評価作成日	平成27年2月7日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	<a href="http://www.kaigokouhyou.jp/kaigosip/Top.do?PCD=46">http://www.kaigokouhyou.jp/kaigosip/Top.do?PCD=46</a>
-------------	---

## 【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人自立支援センターかごしま 福祉サービス評価機構
所在地	鹿児島県鹿児島市星ヶ峯四丁目2番6号
訪問調査日	平成27年3月16日

## 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

- ・これからの人生を家庭的な雰囲気の中でその人らしくゆったりと生活が送れるようお手伝いします。
- ・家族地域の方々との絆を大切にします。
- ・笑顔で思いやりのある声かけを心がけます。
- ・ご利用いただく方の今のそのまますを認めそのまますを受け入れそのまますの生活維持。
- ・向上を可能としていくために私達は、当たり前前生活を当たり前前関わりでごく当たり前前提供します。

## 【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

--

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	理念を掲示している。スタッフ会議を行い、その都度取り上げ、対策を検討し、実践につなげている。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	自治会に入会している。地域の方に運営推進会議や消防訓練に参加してもらい、協力を頂いている。自分達も年に3回、当番で防犯パトロールに参加している。		
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	運営推進委員会を通じ、地域住民に救急蘇生などの参加を呼びかけ、職員と一緒に勉強会などを行っている。ライフサポートの看板を掲げ、地域に呼びかけ、相談に応じるようにしている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	利用者の状況活動報告を行っている。その内容をスタッフに報告し、今後のケアサービスへと繋げていけるように話し合っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携  市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	介護保険更新時や、地域のひろば事業報告書の提出など、市の担当窓口に行った際に相談をしている。運営推進会議での意見を尊重し、地域ケア会議への参加も行っている。		
6	5	○身体拘束をしないケアの実践  代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	スタッフ全員が身体拘束となる行為について理解し、勉強会も行っており意識付けをし、安全を考え、支援している。		
7		○虐待の防止の徹底  管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃されることがないように注意を払い、防止に努めている	意識付けし、虐待防止に取り組んでいる。言葉遣いなども、それぞれが気をつけるよう、心掛けている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用  管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	家族と疎遠の利用者さんがおられたりすると、これからの人権や財産管理、権利擁護が必要になられた時の為に学習知識が必要と思われるため、後見人制度の利用勉強会へ参加している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>契約前に家族へ説明し、ホームでの生活状況・雰囲気を感じてもらうため、入所前に来ていただき、話を聞き、説明を行なっている。本人もお茶の時間に来てもらう事もある。家族と本人に納得してもらい、契約を行っている。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>運営推進会議を利用して、利用者や家族にメンバーとして出席してもらっている。誕生会や面会時に意見や要望を聞き、スタッフ会議で検討し、改善できるように、努力している。</p>		
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>会議に管理者も出席してもらい、希望や意見を検討し、対応してもらっている。</p>		
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>勤務希望を優先してもらっている。スタッフ間の勤務交代も支障が出ないように、調整してもらっている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>自施設や、市で行っている研修会などに参加し、参加できなかったスタッフにも情報を共有できるように、報告している。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>地域密着型サービス事業所グループホーム協議会へ加入し、色々な活動・研修などに参加し、交流を図っている。ソフトバレーやゲートボール大会に参加している。特に楽ワザ介護は出席者が多い。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		○初期に築く本人との信頼関係  サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	事前に家族より情報を得て、可能であれば、利用前に立ち寄ってもらい、雰囲気になじんでもらっている。入居後は傾聴し、不安軽減できるように努めると共に、家族との信頼関係を築いていけるようにしている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係  サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	本人・家族の話を聞いて理解し、支援方法を話し合い、不安軽減に努めている。（特に家族の困り事）		
17		○初期対応の見極めと支援  サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	本人・家族の話を聞き、スタッフ間で話し合い、管理者・医師・その他専門分野に助言を求め、対応している。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係  職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	利用者の困っている事を聞いて共感し、相手の立場に立った支援をするように努めている。本人のできる事や希望する事を自然に一緒に行える関係作りを心掛けている。また、利用者同士の関係がうまくいくように調整を心掛けている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係  職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	面会時には状況報告し、要望なども聞いている。遠方にいる家族には、とよりんじ便りや、手紙に写真を添えて状況報告している。電話での会話を行ってもらっている。本人と家族がゆっくりと話ができる場所を配慮するよう、心掛けている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援  本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	今まで使っていた物や思い出の物を持ってきてもらっている。近くの店に買い物と一緒にいたり、散歩している。		
21		○利用者同士の関係の支援  利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	利用者同士の声掛けがあり、大きな笑い声もよく耳にする。伝達困難な時は、職員が間に入っている。食事の際の位置関係も配慮している。アニマルセラピーとしての猫が話の話題となり、利用者の癒しとなって、つながりもできている。		
22		○関係を断ち切らない取り組み  サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	対象者なし		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	本人の表情や会話で意向の把握に努め、対応している。職員間で情報を共有し、検討している。月1回のミーティングや、必要時支援方法を話し合い、検討している。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居前に関係機関や、家族・本人より情報を得ている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	利用者の生活のリズムやその日の状況に合わせた援助を心掛けている。特にテーブル・イスの位置関係は、その都度状況に応じて配慮している。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	日々の生活の中で思いや要望を感じ取り、職員でのモニタリング評価を行っている。家族の面会時には状況報告をし、家族の思いを聞きながら、今後のケアについての相談をしている。ミーティングで数人ずつ取り上げて、検討している。		



自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個別的に記録をし、介護記録を見ながら申し送りをし、情報の共有に努め、実践につなげている。記入用紙も改善し、用紙を半分に区切り、左側に本人の言葉や様子を主に、右側に職員の気付きやケアの実践を記録するよう、工夫している。記録を分けて記入する事により、情報の共有に努め、実践につなげている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	家庭的な雰囲気でも過ごしていただけるよう、本人の生活習慣や希望に沿った外出を行い、地域との繋がりを継続できるようにしている。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域のボランティア舞踊、年2回の中学生吹奏楽部演奏、年1回の保育園児による慰問などがあり、交流を楽しみにしている。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	月2回の往診があり、医療機関と連携できて、体調不良時には受診を行い、早めの対応を心掛けている。浜崎医院へは状況報告を密に行い、対応を図っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>日々の観察により、体調変化や気づきを看護師に相談し、医療機関の受診を判断している。必要時には、訪問看護も受ける。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>お互いに情報交換を行い、役立てている。また、退院後、スムーズに受け入れができるように体制を整えている。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>入居時に医療連携体制及び看取り看護の説明を行っている。医療機関との連携を行い、症状が変化していく中で家族や本人に確認しながら、チーム間で情報共有しながらケアを行い、看取りに取り組んでいる。家族の心のケアにも配慮を心掛けている。</p>		
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>AEDを設置しており、蘇生方法やAED使用方法などの学習会に参加している。備蓄品も準備してある。誤飲時対処方法の訓練も行っている。リスクの担当者から指導を受けている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>年2回、防災訓練や自主訓練をしている。運営推進会議で訓練報告をしている。消防訓練に地域の方の参加もある。（見守りなど、できる事を協力してもらっている）</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保  一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	個々に応じた言葉掛けを行っている。特に排泄に関しては、プライドを傷付けず、プライバシーを守るような対応を心掛けている。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援  日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	話しやすい雰囲気作りを心掛け、理解力に合わせて話しをしている。		
38		○日々のその人らしい暮らし  職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	食事は個々のペースに合わせている。入浴などは、無理強いすることなく時間をずらしたり、翌日に入浴を勧める等、対応している。レクリエーション参加も本人の希望に任せている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援  その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	その日の服は、本人の意志で選択し、必要時アドバイスする。選択できない人は職員が選ぶ。2ヶ月に1回を目安に、理容師に訪問してもらっている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援  食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	本人の体調に応じて、お盆や台拭き等を手伝ってもらっている。利用者と一緒に季節や行事に沿ったメニューを考えたり、誕生日には本人の好きなメニューを取り入れている。普段も季節の物や、好きなメニューを取り入れたりしている。モヤシの髭取り等を手伝ってもらっている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	経過表で食事・水分量を把握している。できるだけ喜んで食事摂取できるように味付け、盛り付けや色彩等も配慮している。自分でできない部分のみ介助している。状態に合わせて、とろみをつけたり、水分摂取がスムーズに行くよう、本人の嗜好を取り入れながらすすめている。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	自分でできない所や、不十分な所を援助や声掛けや見守りを行っている。義歯は外し、うがいを行っている。夜間にポリデントを使用する人もいる。全員、自室の洗面所で行っている。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	排尿チェック表を確認し、トイレの声掛けを行い、便意や尿意に関わりトイレ誘導を行っている。必要時は介助している。便座移乗がスムーズにできるよう、筋力保持の運動を行っている。		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	スムーズに自然排便できるようにトイレ誘導したり、水分摂取を促し、乳製品や繊維の多い食事やおやつ等を心掛けている。腹部マッサージを行っている。排便の周知を知り、個々に合わせた取り組みをしている。便秘の状況に合わせて、下剤服用を検討している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	17	○入浴を楽しむことができる支援  一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	基本的には週3回行っているが、希望に応じて曜日や時間を変更している。希望に応じて入浴剤を入れている。入浴できない人は、定期的に清拭更衣を行い、保潔に努めている。		
46		○安眠や休息の支援  一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	状態や状況に応じて入眠できるよう、配慮している。安眠できるように夜間パットを使用している。夜勤者が睡眠の状態を報告し、日中に昼寝や運動等を促す等、支援に務めている。環境を整え、眠剤を服用せずに眠れるようになった人がいる。		
47		○服薬支援  一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	個々の服薬説明を個人ファイルに綴り、いつでも確認できるようにしている。変更や臨時処方があった場合は介護記録に記載し、全員が把握できるようにしている。食札に用量を記載しており、服薬確認をしている。現在、誤薬がないので、引続き注意していく。		
48		○役割、楽しみごとの支援  張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	洗濯物をたたんだり、台拭きやお盆拭き等の手伝いを行っている。慰問や季節ごとの行事を楽しんでもらっている。散歩などを取り入れている。車で紅葉狩りに出掛けたり、利用者全員で近くの公園へ花見に出掛けている。地域のひろばにも参加する。		
49	18	○日常的な外出支援  一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	希望により、外出（買い物）や天気の良い日に近隣へ出掛け、地域の人と話をしたりもしている。季節感を感じてもらっている。家族の協力も得ている。1Fと2Fとの交流を図れるようにし、お茶を飲んだり、行き来している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>自己管理できる人は自分で持っている。他の人はホームで管理し、本人の要望時に渡し、買い物に行っている。</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>手紙・新聞・写真を送り、状況を知ってもらっている。希望時には家族に電話をかける支援をしている。家族から電話があった場合は、話してもらっている。不安が強い時等、電話で状況説明し、本人と会話してもらっている。</p>		
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>リビングに湿度温度計を置き、適温・適湿を心掛けている。乾燥傾向にある時は加湿器を使用している。季節の花や物などを職員が持参し、季節を感じてもらおうようにしている。天窓があり、開閉を行い、調整している。</p>		
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>各居室は、一人でのんびり過ごせる空間となっている。リビング・食堂等は、気軽に過ごせるように開放的となっている。ソファでゆったり過ごすこともできるようにしている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>思い出の品やタンス等を持ち込んでもらっている。亡き人の写真を飾り、思い思いに花や果物を飾ったり、偲ぶことができるようにしている人もいる。面会時にはお茶を出し、ゆっくり過ごせるように配慮している。</p>		
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>電動ベッドやナースコール設置し、夜間のトイレは常時明かりをつけている。状況に応じてポータブルトイレを設置し、個々に応じて設置場所も考慮している。昼間は筋力低下防止でトイレ移乗させている。</p>		



## V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)		1 ほぼ全ての利用者の
		○	2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
		○	3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30,31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9,10,19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
		○	3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1 大いに増えている
		○	2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての家族等が
		○	2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない